

地域おこし協力隊・地域活性化起業人だより vol.4

それぞれの思いを胸に那須町で大活躍中の地域おこし協力隊・地域活性化起業人の皆さんの活動をご紹介します。これまで取り組んできた内容や今後の展望、感じたことなどを伺いました。

■問合せ ふるさと定住課事業推進係 ☎72-6955

歳をとっても安心して暮らせる町づくり

氏名：伊藤 力

所属：保健福祉課地域支援係
ミッション：地域共助・高齢者の居場所づくり



令和6年10月に地域おこし協力隊として着任し、地域共助コーディネーターとして地域の居場所づくりや介護予防に取り組んでいます。

現在は那須町生活支援体制整備協議会への参加や、生きがいサロン等の居場所づくり、認知症サポーター養成講座の運営やサポートなどに携わっています。令和7年5月には「黒田原駅前ふれあいサロン」を立ち上げ、月に1回地域の人で集まり茶話会やイベントを行っています。他にも地域のお寺で「寺サロン」を開催したり、小学校で出張サ

ロンを行ったりして地域資源の活用や多世代交流をすすめています。

日々活動する中で、孤独や医療・交通などさまざまな問題に高齢者が直面しているということに気付かれます。高齢化が進んでいく中で、今後はそういった高齢者の困りごとや問題を解決できるような「高齢者の生活支援サービス」をつくっていったらと考えています。人生100年時代といわれ、そして誰もが歳をとっていくなかで、歳をとっても安心して楽しく過ごせる町づくりを目指していきたいと思っています。



空き店舗と創業者を繋ぐ「くろまる」の挑戦

氏名：玉利 容子

所属：観光商工課商工係
ミッション：空き店舗の活用&創業支援



この2年、空き店舗バンクの運営を通じて、50以上の物件を調査し、創業支援として80組以上の創業希望者と面談をしてきました。セミナーや内覧同席を重ねる中で、物件所有者にとって片付け・修繕・契約といった心理的な負担の大きさを目の当たりにしています。一方で、創業希望者にとっては、那須特有の地域性や季節性という壁があり、事業継続が難しい現実も痛感しています。

そこで、まず物件所有者と創業希望者が繋がりを作って、顔の見える交流を拡げようと企画

したのが「創業挑戦プロジェクトくろだはらマーケット（くろまる）」です。創業希望者が勉強会を経て、実際に出店を体験するこのプロジェクトは、参加者が昨年の4組から今年は5倍の20組に増えました。8月14日には、黒田原小学校校庭で彼ら18店舗が一同に出店し、地域の方々と直接触れ合うイベントを開催し、大盛況に終わりました。私自身、この企画運営をする中で、町での挑戦は、地域や先輩の方々の心意気に支えていただいていることを、改めて強く実感しました。

那須町は、創業したい人が絶えない魅力的な地域です。残り1年、物件所有者や創業希望者の想いを、顔を見ながら聞き、1つでも多くの縁を繋いでいきたいと思っています。

